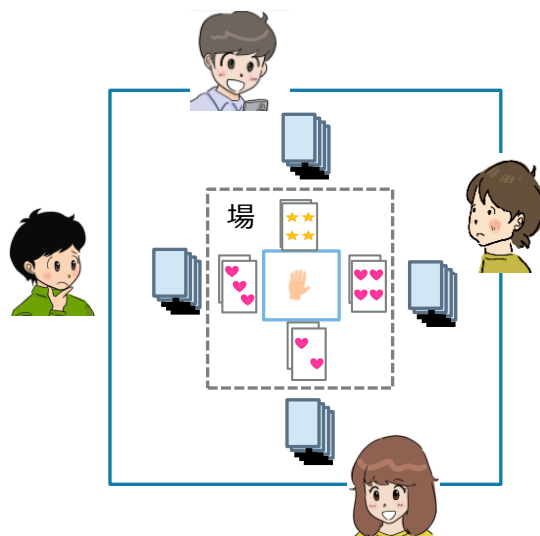


## C212 Find5



ばにでたカードをよくみてね。  
あるかたちが5になったら、  
いそいで、てをだそう！

さいしょにてをだしたひとが、  
ばのカードをすべてもらえるよ。  
たくさんカードをゲットしたひとが、かち！



## ★ あそびかた

すべてのカードをくばり、うらがえしておく。  
ばのシートをまんなかにおいてから、はじめよう。

### ① じゅんばんをきめる

スタートのひとをきめ、つぎからはとけいまわりにじゅんばんをまわす

### ② カードをめくる

スタートのひとからじゅんに、じぶんのカードからいちばん上のカードをおもて  
向けて、ばに出す。（次からは、じぶんが出したカードの上にかさねる）  
・あるかたちのかず5になったら、「GO！」といい、手をまんなかになだす  
いちばんはやいひとが、ばのカードをすべてもらえる  
・5より小さいとき、大きいときは、手をださないで！  
くわしいルールはどうかをチェック！

だれかのてもちのカードがなくなるまで、じゅんばんに、②をくりかえそう。  
さいご、てもちのカードのまいすうが おおいひとがかち！



くわしいルールは、つぎのページいこうに のっているよ！ おうちのひとと、いっしょによんでね。



かざして  
チェック



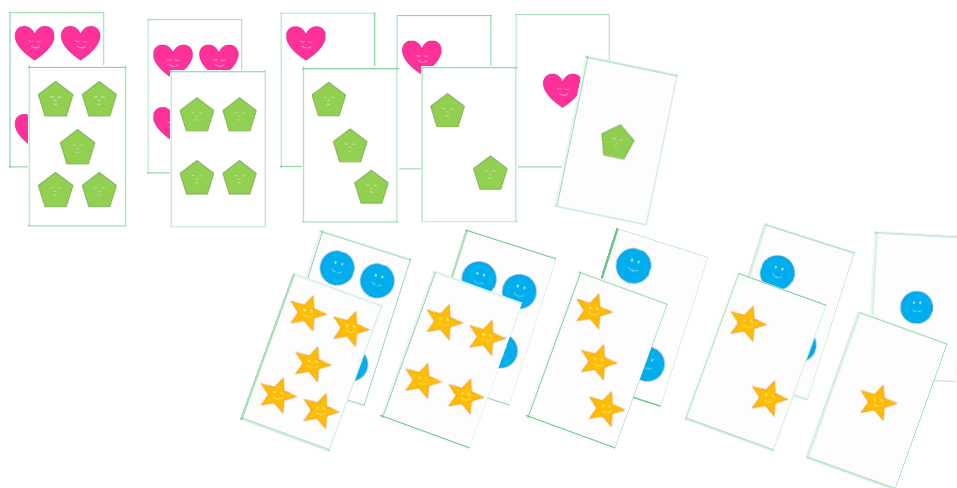
人数  
時間  
難易度

3人～5人  
30分程度  
★☆☆

ファインド

ファイブ

# c212 Find 5



## ゲーマータイプ



チアーバー

### A:達成者

3 多くのカードを集める

2

1

0

### D:決闘者

形の数の合計が5のとき  
他の人よりも早く手を出す



キラー

### B:交流者

順番にカードを  
めくる



ソーシャライザー

### C:探究者

5になる数の組み合わせを見つける



エクスプローラー

# C212 Find5



## ゲームの概要

順番にカードを場に1枚ずつ出していきます。カードに書かれている形をよく見て、形ごとの数をチェックします。

ある形の数が5つになったら、場のシートの上に手を出し、最初に手を出した人が場のカードをすべてもらえます。



## 勝負のつけ方

誰かの手持ちのカードがなくなったら、おわりです。一番たくさんカードを持っている人の勝ちです。

# C212 Find5

## 内容物

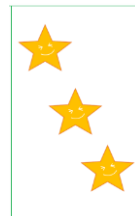
黄色カード（1 4 枚）



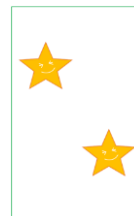
1 枚



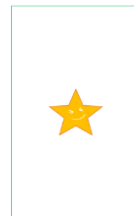
2 枚



3 枚

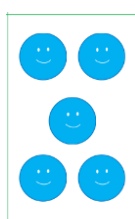


3 枚

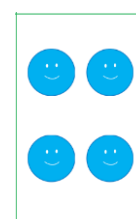


5 枚

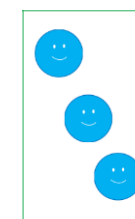
青色カード（1 4 枚）



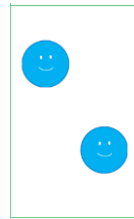
1 枚



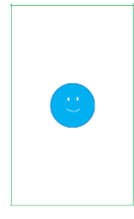
2 枚



3 枚

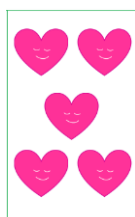


3 枚

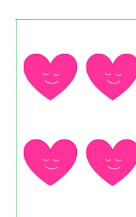


5 枚

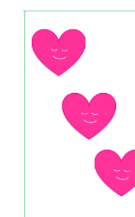
赤色カード（1 4 枚）



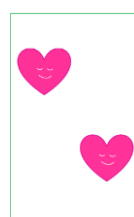
1 枚



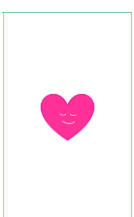
2 枚



3 枚

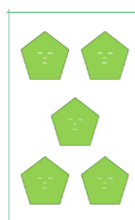


3 枚

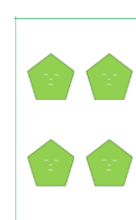


5 枚

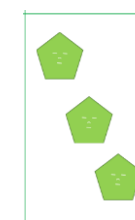
緑色カード（1 4 枚）



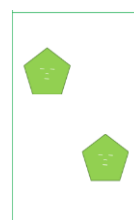
1 枚



2 枚



3 枚



3 枚



5 枚

合計 5 6 枚

# C212 Find5

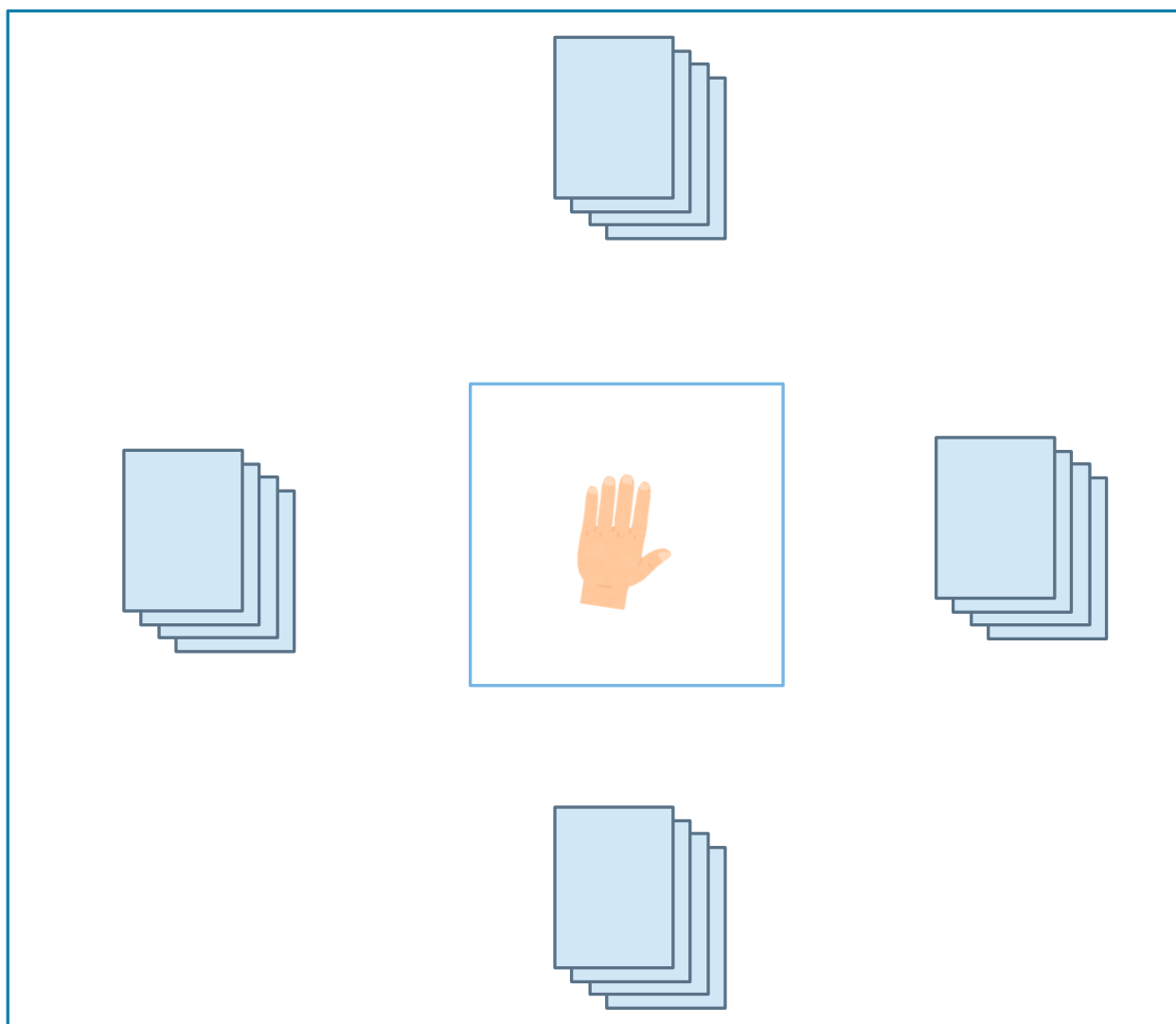


カード

全て配り、裏向きに置きます。

場のシート

真ん中に置きます。

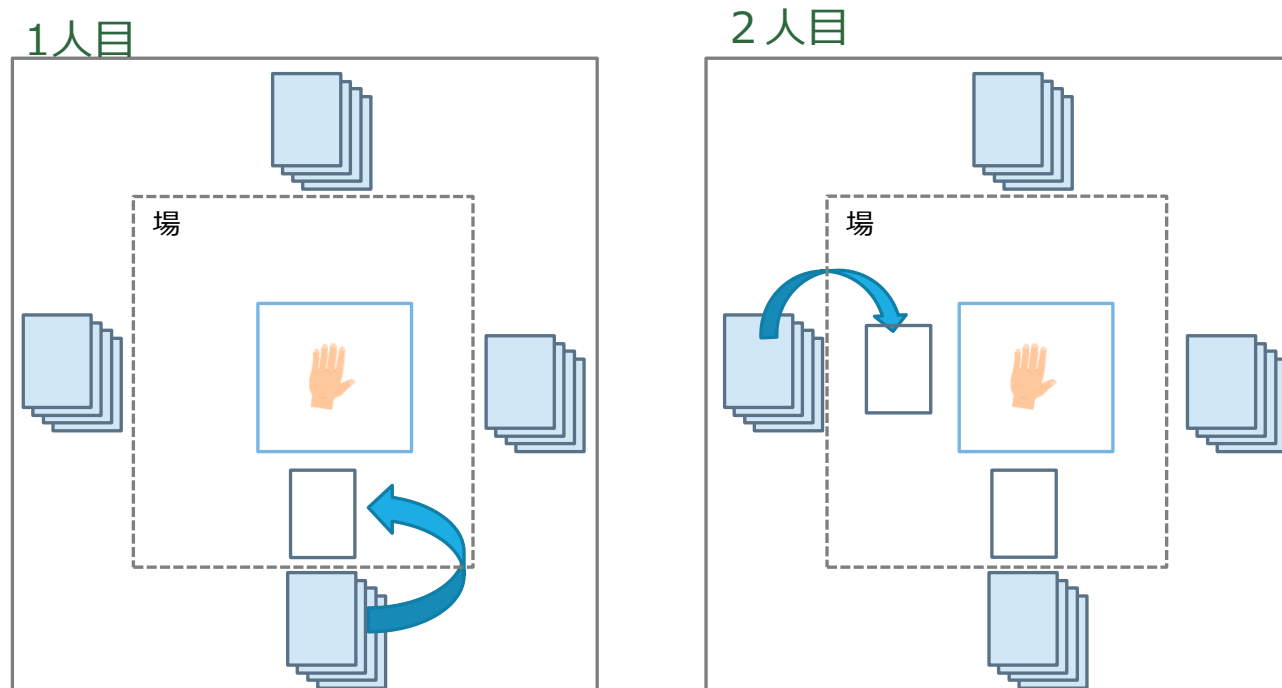


例：4人で遊ぶ場合

# C212 Find5

## 遊び方

- ①スタートの人を決めます。（時計回りに順番を回します。）
- ②スタートの人から順番に、自分のカードの束から一番上のカードを表向けて、場に出します。  
（2巡目以降は、自分が出したカードの上に重ねます）



★ある形の数の合計が5になったら、「GO！」と言いながら、全員が自分の手を、場(手の図)に重ねます。  
一番早い人が、場に出ているカードを全てもらえます。  
もらったカードは手持ちのカードに入れて使います。

★どの形も数の合計が5以下の場合は、次の人に順番を回します。

★ある形の合計が5以上になっても、手は出せません。  
次の人に順番を回します。

# C212 Find5

## 遊び方

### 5の数え方①

ある形の数の合計が5になるパターンは下記のとおり

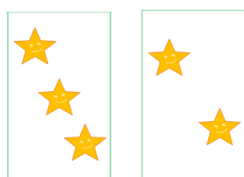
[例1] 5が1枚



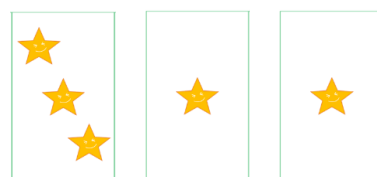
[例2] 4が1枚、1が1枚



[例3] 3が1枚、2が1枚



[例4] 3が1枚、1が2枚



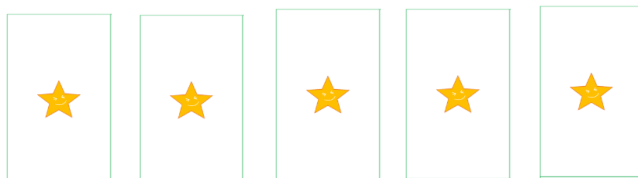
[例5] 2が2枚、1が1枚



[例6] 2が1枚、1が3枚



[例7] 1が5枚（5人以上で遊ぶ時）



③を、誰かの手持ちのカードがなくなるまで続けます。  
最後が一番たくさんカードをもっている人の勝ちです。

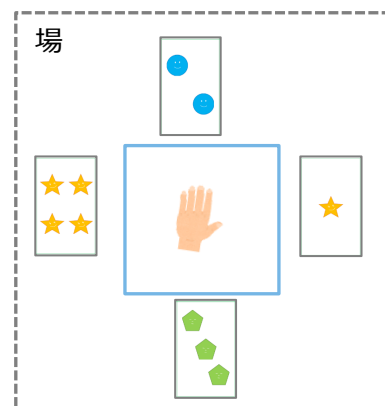
# C212 Find5

## 遊び方

### 5の数え方②

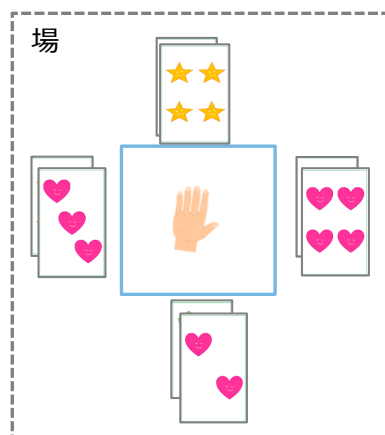
#### [例 1]

右の図の場合、黄色の星マークが、5となる。  
→最初に手を出した人が、場のカードを全てもらえる。



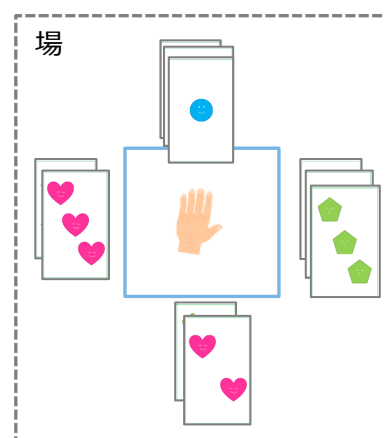
#### [例 2]

右の図の場合、ピンクのハートマークは5を越えているので、誰も手を出してはいけない。



#### [例 3]

例 2 の後、次の巡でカードを重ねて出し、右図のようになった場合、  
緑の五角形マークで覆われた為に  
ピンクのハートマークが5となる。  
→最初に手を出した人が場のカードを全てもらえる



誰かの手持ちのカードがなくなるまで、②を続けます。  
最後が一番たくさんカードをもっている人の勝ちです。



# C212 Find5



## ゲームのコツ、プレイヤーへの支援

- ・ 一桁の数字の計算ができるようになると楽しめるゲームです。
- ・ 楽しみながら、計算力UPにつなげてください。



## アレンジ（案）

- ・ 「Find 4」、「Find 6」として、ある形の数の合計が4や6の時に、手を出すというルールに変更しても良いでしょう。
- ・ 年齢の高い子供どおしで遊ぶ時は、四則計算を使い、「Find 2」としても良いでしょう。  
例：「1」と「3」で、 $3 - 1 = 2$  となる。  
「4」で、 $\sqrt{4} = 2$  となる。  
「1」と「5」と「3」で、 $5 \div 1 - 3 = 2$  となる。  
複雑になり、おもしろくなります。
- ・ おてつきのルールを追加してもおもしろいでしょう。  
手持ちのカードから5枚ながす など